

## 6 防災マップを作る ③

# マップ作りに必要なものを準備する。

## ●準備するものを、整理してみよう。

### まち歩き用



●白地図 (A3判)



●クリップボード (画板)



●チェックシート



●Noカード



●えんぴつ



●デジタルカメラ

### 防災マップ作成用



●白地図 (模造紙程度の大きさ)



●マジックペン (マーカー)

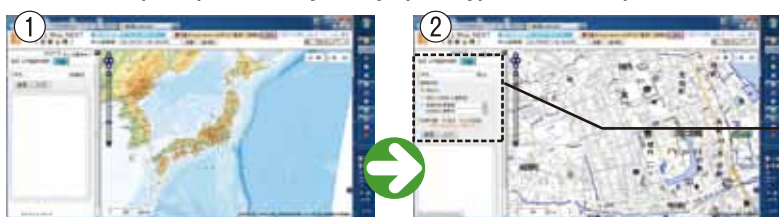


●付せん (赤・黄・青)

白地図の準備は、こんな方法で！

### インターネットで入手

地図は、住宅地図や都市計画図などが使用できます。また、インターネットでも入手できます。  
(<http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse/index.html>)



- ①「電子国土 Web.NEXT」のホームページを開く。
- ②地図画面をそうさしながら入手したい地域の画面を表示したら、「印刷」ボタンを押して出力する。

## 7 「災害時の身の守り方」のポイント

# 災害がおきたとき、身を守るために大切なことを、もう一度確認しよう。

## ●災害から身を守るために

災害から身の安全を守るためのポイントを、ここでおさらいをしておきましょう。

### 身を守るために大切な“3つの知る”

#### ①「災害」を知る

■大雨、台風、地震・津波などの自然現象がひきおこす災害にはいろいろな種類があり、人に与える被害やその規模もさまざまです。まずは「災害とは何か」をしっかりと理解しよう。

#### ②「避難」を知る

■災害から身を守るためには、危険な場所から安全な場所へ逃げるのが重要です。そのためには避難する場所を確認し、そこへ逃げるための道順を知っておくことが大切です。

#### ③「災害時におこる危険」を知る。

■ふだんは安全でも、大雨、台風、地震・津波などがおきたときは、いろいろな場所が危険ポイントになるので、どんな場所が危険かを前もってしっかりと確認しておこう。

### 大切なことは意識を高めることです。

気象情報をテレビやラジオで入手して、大雨警報がでたときは、「もしかしたら近くの川があふれるかもしれない」「もしかしたら土砂くずれがおきるかもしれない」と思えることが大切です。

## ●気象情報は、大雨による危険のレベルを知る手がかり

テレビやラジオで見たり、聞いたりする防災情報に「気象情報」があります。なかでも大雨の場合に気象台から出される気象情報は、雨のふり方に応じて内容が変わるので、その違いをしっかりと理解してください。

防災博士から、みなさんへのお願い！



■みなさんは、この冊子をととして、災害時に身を守るためにはどんなことが大切か、どのようなことを知っておく必要があるかを学んできたと思います。災害から身を守るためには、「ひとりひとりが、自分で考え、行動に移す」ことが大切です。最後にもう一度、次のことを確認してください。

- ①校区内で指定された避難場所を確認する。
- ②校区内の危険ポイントを調べる。
- ③避難場所・避難ルートを決める。
- ④避難のタイミングや避難方法を考える。
- ⑤防災情報の入手の方法を確認する。

※NHKの地上デジタル放送や長崎県の防災情報だけでも確認してください。

### ●大雨の場合に出される各種防災気象情報の発表のタイミング

#### 大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報

